

# たんぽぽ薬局だより

■発行所/たんぽぽ薬局  
〒869-1102 菊池郡菊陽町原水5587-4  
■TEL096(340)2121 FAX096(340)2123  
■発行責任者/平田 彰子  
■HPアドレス/http://www.kk-pharma.jp/

2011  
No.35

初夏号



## 二つの震災から学ぶこと

東日本大震災は、3月11日の太平洋三陸沖を震源として発生し、津波と原発事故も相まって、甚大な被害をもたらしています。亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

各薬局をご利用いただいている皆様から寄せられました義捐金・物品は熊本民医連としてまとめた後、全日本民医連を通じて被災地に送らせていただきました。ありがとうございました。

私たち健康共同ファルマからは求められた薬剤のリストから降圧剤を早速送り、その後、宮城に二人の薬剤師が支援に向きました。

さて、私達薬局の加盟する全日本民医連は過去に(1995年1月17日)阪神・淡路大震災を経験し、その支援の経験からいくつかの教訓を得ました。それはまず被害にあった現地の病院・薬局が地域のネットワークを生かし救命など当面の支援を全力で行なうこと。そして、その「被害の実態」とともに、その時ときに求められる「人」「物」の情報を発信し続けることです。全国からかけつけた仲間の支援スタッフを統括し、他の団体と調整する仕組みも必要です。支援物資も具体的なリストを作成し、以前のように支援物資の整理(違う銘柄の薬が重なるなど)に手間を取られことも防ぎます。

支援の中身も当初の救急医療から次第に慢性疾患管理、悪化防止、リハビリに移り、後には心のケアの必要性が強調されました。支援に行かれた方々の二次被災のケアも必要です。

今回は原発の事故も重なりさらに健康の回復とともに地域の復興が大きな課題として残っています。「地震・津波から原発を守るのか」との以前から国会等での指摘が生かされなかったのが悔やまれます。そして、それは私たちの住む町でもこれから考えていかないとけない課題でもあります。まだまだ支援は必要と思われる。今後ともよろしくお願いいたします。



取締役・さくら薬局  
甲斐 康幸



## お薬シリーズ その7



### お薬手帳の実力

お薬手帳は現在自分の飲んでいる薬の内容を記載している手帳です。今までの服用歴・相互作用などの確認に役立つ優れもの。こんなお薬手帳は17年前の阪神大震災の時みんなに知られ広く普及されるようになったそうです。



### 今回の震災ではお薬手帳はずいぶん役に立ちました。

震災で手元に薬がない患者さん、**どんな薬をどれくらい飲んでたか分からない**。「赤い小さな粒」「白くて細長い薬」等は分かっても、実際の薬品名が分からなければお医者さんもうしろもありません。「同じ効果ならどれでもいいじゃないの」と思う方もいらっしゃるでしょうが、作用も違うし、合う合わないもあり、その服用量も人それぞれ違います。

「急なことだから持ち出しなんてそんなの無理」とは思いますが、**いつも持ち歩くカバンに手帳を入れておき、一番新しい薬の説明書を必ず緊急袋に入れる等の対策**をしておくとい良いでしょう。

今回の東日本大震災に際しても厚生労働省はお薬手帳の配布を推進しているそうです。

避難所で受診しお薬手帳の発行を受け、それを持参し別の地域の病院等に行ったときに見せるとスムーズに診察・お薬の受け取りが可能になります。

#### 災害以外でも

●旅行中に具合が悪くなった時 ●事故にあたり倒れた時  
現在服用中の薬が分かれば、医療機関における対処・救急救命措置も素早く出来ます。



普段はただの記録手帳、面倒な事と思われるかもしれませんが、是非お持ち続けて頂ければと思います。

### 3月21日から1週間、 宮城県の医療機関へ支援に行ってきました。

被災地周辺には数多くの避難所があり衛生状態のよくないところもありました。避難所には医師や看護師などの医療スタッフとともに数名で訪問し、私は医師の処方にしたがい、その場で調剤して患者さんへお渡ししたり、避難者が持っておられた薬の鑑別などを行ったりしました。また現地の薬局でも業務を行いました。職員も当然被災しており、そんな状況でも患者さんへの薬剤提供を震災直後から休むことなく続けていました。津波などで薬が流されてしまった方も多く、薬を必要としているたくさんの方々の患者さんへ薬剤師としてできる限り必死にがんばっている現地スタッフの姿に、私も少しでも手助けになればとの思いでがんばりました。

ひまわり薬局 西山真純



泥だらけの薬歴簿

株式会社 健康共同ファルマ 入社式

よ3しく  
おねがいます!!



左から事務新入職員の迫田佐枝子(本社)、浦田彩実(ひまわり薬局)

### ACCESS MAP



### 福祉用具貸与事業所ひまわり

私たちは、利用者様の「介護幸せ配達人です!」

福祉用具貸与事業所の仕事は、自宅で介護が必要になった方の住環境を一緒に考えることです。お客様にとって身近な事業所になれるよう、日々努力しています。2011年もよろしくお願いいたします。

福祉用具販売、レンタル、住宅改修工事等何でもご相談下さい。

(株)健康共同ファルマ 福祉用具貸与事業所 ひまわり  
熊本市神水1-21-16 電話(096-387-5211) FAX(096-387-5323)  
Eメール:okamoto@kk-pharma.jp 岡本 修

#### 開局時間

曜日	時間
平日	午前9時～午後5時30分
土曜日	午前9時～午後0時30分

#### 携帯で簡単登録!

住所や電話番号の情報が載っているQRコードです。

